

形成外科

(スタッフ)

部長 : 加藤 愛子
主任医師 : 足立 恵理
専攻医 : 宇都 翔 (3月まで)
: 野中 侑紀 (4月から)

2022年は、加藤愛子と足立恵理の専門医2名および3月までは専攻医宇都翔、4月からは専攻医野中侑紀の合計3名で診療を行いました。

研修医は、3月に佐藤大貴医師、4月に甲斐大喜医師、5月・10月に木下絵里子医師、8月に小畑天義医師、11月に濱田奈央子医師、12月に安東和真医師の計6名が研修を行いました。

(診療実績)

1. 外来

外来診療は、火～金曜日の各午前に4日/週で行いました。

その他の救急患者で形成外科的な処置を必要とした場合も可能な限り対応しました。

2022年の外来患者の総数は3,367名で、新患者数は544名でした。

2. 入院

入院病床の定数は4床でしたが、入院患者の増加に伴い2022年5月より5床に増床となりました。

2022年の入院患者延べ数は1,923名、平均在院日数は12.9日でした。

3. 手術

手術は月曜日午前と火曜日午後の手術枠で行いました。

2022年の手術総数(手技数)は512件で、うち入院を要した全身麻酔・脊椎麻酔・伝達麻酔・局所麻酔下手術が287件、外来での手術が225件でした。手術内容の区分については表に示します。

(今後の方向性)

2022年も新型コロナウイルスにかき回された1年でした。感染状況によりその時期に応じたいろいろな制限があるため、外来患者、入院患者ともに不便を強いられている部分が多々あり恐縮ですが、スタッフや他科医師との連携を密にし、円滑な診療が継続できるよう心がけていきます。

また日本専門医機構による新専門医制度における基幹施設として、施設認定を維持できるよう、医師

個人の資格取得と症例数の確保、後進医師の育成に努めるとともに、今後も地域の中核病院の診療科として質の高い専門医療を提供できるよう、スタッフ・機材の充実を図り、ますますの知識・技量向上に努める所存です。

(文責: 加藤愛子)

表 2022年手術件数 ()内は2021年の数値(単位:件)

疾患大分類 手技数	入院			外来			計
	全身麻酔	腰麻・伝達麻酔	局所麻酔・その他	全身麻酔	腰麻・伝達麻酔	局所麻酔・その他	
外傷	43(35)	20(3)	16(7)	-	(11)	61(41)	140(97)
先天異常	19(10)	-	-	-	-	4(1)	23(11)
腫瘍	53(55)	1(0)	16(6)	-	(2)	112(104)	182(167)
瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	14(13)	-	2(3)	-	-	20(13)	36(29)
難治性潰瘍	62(22)	15(7)	14(14)	-	2(0)	4(6)	97(49)
炎症・変性疾患	8(24)	1(0)	3(3)	-	1(5)	18(14)	31(46)
美容(手術)	-	-	(1)	-	-	-	0(1)
その他	(3)	-	(7)	-	-	3(3)	3(13)
Extraレーザー治療	-	-	-	-	-	(1)	0(1)
計	287(213)			225(201)			512(414)